

子や孫への生前贈与などを促す金融商品に資金が集まっている。最大の三菱UFJ信託銀行では信託商品の契約金額がこのほど1兆円に達した。このうち約750億円が払い出され、家計の消費に回ったとみられる。教育資金や結婚・子育て支援で非課税枠が設けられたことも寄与し、高齢

子・孫への支援信託

契約額1兆円超

世代が生前から次世代に資産を移転する動きが加速している。開始から増え続け、この1年間で7割増えた。

相続関連の金融商品で契約1700兆円にのぼる

三菱UFJ信託 資産移転が加速

約金額が1兆円に達するの日本の家計の金融資産は60は邦銀として初めて。教育代以上が全体の6割を占め資金贈与信託や結婚・子育てしている。消費が活発な若年で支援信託など4商品で構層への資産の移転が課題成される「次世代支援信託」だ。